

- 柏原看護専門学校 - 県立学校として最後の卒業式



県立柏原看護専門学校の卒業式が3月6日に行われ、将来の地域医療を支える36人が新たな一歩を踏み出しました。

4月1日から、看護学校の運営が丹波市に引き継がれるため、県立として最後の卒業生となるみなさん。卒業後は、県立柏原病院をはじめ、県内外の病院で勤務するなど、それぞれの道を歩みます。

卒業生代表 高杉恵梨奈さんは、「患者の痛みがわかり、希望に寄り添える看護をめざします」と誓いました。



学業のほか、寮生活を通して多くの時間をともに過ごしてきた仲間との別れを惜しむ卒業生たち。

みんなでつくろう！ 安全・安心のまち 丹波市

地域の安全・安心をみんなで考える「地域安全丹波のつどい」が2月22日に、ポップアップホールで行われ、丹波防犯協会吉住会長が、「一人ひとりが力を合わせ、犯罪や事故のない『安全・安心のまち 丹波市』を実現するために、さらなる努力をします」と力強く大会宣言を行いました。



兵庫県警察音楽隊が歌と音楽のパフォーマンスを披露。

- 第67回消防記念日表彰式 - 高い防火意識に荣誉

3月9日、丹波市消防本部で「第67回消防記念日表彰式」が行われ、村上消防長から、組織ぐるみで防火に努める医療法人社団記念医会芦田内科に優良防火管理事業所表彰が、また、計画的な避難消火訓練を実施している(株)丹波の森ショッピングタウン大前正明事務局長に優良防火管理者表彰が贈呈されました。



村上消防長から表彰状を授与された(株)丹波の森ショッピングタウン大前正明事務局長（写真左）と芦田内科本庄清昭部長（写真右）。

- 沼駐在所開所式 - 地域の安全・安心の拠点が新たに

丹波警察署沼駐在所（氷上町沼）の老朽化にともない、新しく建て替えられた駐在所の開所式が、2月23日に行われました。

同駐在所に勤務する高田翔巡查部長は、「管内の治安維持のために、勤務に精励し、親しめる駐在所づくりに全力を尽くすことを誓う」と決意表明しました。



地域の安全・安心の拠点として、新しく建て替えられた沼駐在所の開所式に集まった関係者のみなさん。

-LINE@ クーポン企画 - ちーたんが誕生日にサプライズ訪問

2月22日、9歳の誕生日を迎えた霜多美風さん（市島地域）の自宅に、ちーたんがサプライズでお祝いにつけました。

市が運営するSNS「LINE@」で発行した「大切な人の誕生日にちーたんがお祝いにつけてくれるクーポン」に美風さんのお母さんが当選したことで実現。突然のちーたんの訪問に美風さんは、「びっくりしたけど、ちーたんにお祝いしてもらってうれしい」と喜びを伝えました。



大好きなちーたん、兄弟姉妹と一緒に記念撮影する美風さん（左から3人目）。



芦田小学校児童から、毎日の登下校の安全を見守る交通指導員のみなさんに、感謝の気持ちを込めて花束が贈られました。

「交通指導員さんありがとう」

3月4日、芦田小学校で、日ごろの登下校の安全を見守ってくれた交通指導員のみなさんに、児童から1年間の感謝の気持ちを伝えるお礼の会が開かれました。

児童代表 細見妃那さん（12）は、「雨の日も、雪の日も横断歩道に立ってもらって、ありがとうございました」と感謝を述べました。



地元商工会などが回転焼きやわんこそばなど、約30店の飲食ブースを出店。

- 復興支援感謝イベント - 届け！「ありがとう」と「元気」

ボランティア活動により被災地を支援してくださった多くの方々に、「ありがとう」の感謝の気持ちと「元気」を届けようと、3月1日、三ツ塚史跡公園で復興支援感謝イベント「ありがとう元気」（主催：市商工会市島支部）が開かれました。イベントにはボランティアが招待され、多彩な催しで市民との交流を深めました。

また、同日、中越地震で被害を受けた集落の再生支援に携わった長岡造形大学准教授 澤田雅浩さんを講師に迎え、丹波市復興プラン・タウンミーティングを開催。澤田さんは、「丹波市全体で復興をめざす機運を高めてほしい」と話しました。



タレントの森脇健児さんが、軽快なトークで大運動会を盛り上げました。

中越大地震の教訓をもとに、市民、行政が一体となって復興をめざすことの必要性を話す澤田さん。

